

オピオイドの剤形変更時における疼痛コントロール変化の実態調査

1. 研究の対象

2016年1月から2018年12月の期間に入院中にオキシコドン徐放錠から剤形の異なるオピオイド（麻薬）へ切り替えを行った方

2. 研究目的・方法

(1) 研究の背景及び目的

オキシコドン徐放錠から剤形の異なる麻薬性鎮痛剤へ切り替えた際の疼痛コントロール状況の変化について、切り替え前後のペインスケールを用いて調査を行います。

(2) 予想される医学上の貢献及び意義

オピオイドの切り替えに伴い疼痛コントロールが悪化する例も存在すると予想され、その要因を考察することにより、オピオイド切り替え時の疼痛コントロール向上に寄与できると考えられます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

調査項目は、対象患者の年齢、性別、身長、体重、癌種、転移部位、ステージ、既往歴、使用したオピオイドの種類・投与量・投与期間、レスキュー回数、併用薬、オピオイドの変更理由、肝機能、腎機能、腹水・胸水の有無、疼痛の種類、ペインスケールです。調査期間内の対象患者をオピオイド変更後のコントロール増悪群と非増悪群に分けて集計・考察を行います。

4. 期間

承認日～2020年3月31日

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都中部総合医療センター 患者相談係

研究責任者：京都中部総合医療センター 薬剤部 薬剤師 関奈緒子

-----以上